

那珂川 NEWS 2

育てませんか あなたと私の Wood コミュニケーション

どうなる私たちの業界 2023年(令和5年)の展望

常務取締役 安島和久

■コロナパンデミックに始まりロシアによるウクライナ戦争で資源・エネルギーの不足と高騰、円安による輸入コスト上昇と、2024年問題と言われている働き方改革の運輸部門の猶予が来年に迫る中、運送関係のコスト上昇とダブル・トリプルであらゆる商品が高騰し、私たち消費者の生活を苦しめています。

■また、国は2050年にカーボンニュートラル実現に向けて各施策を実施しています。特に地方自治体の取り組み(東京都太陽光発電義務*条件有)が始まり、各地方自治体の取り組みを促進させる年になっていくでしょう。

① 木材・建材関連

現在、木材関係においては落ち着きを見せていますが、特に資源・エネルギー・物流等の問題で木材以外の住宅資材は値上げ一色の状況にあります。上半期で値上げ関係はひと段落すると思いますが、2月～4月にかけて、各住宅資材メーカーの値上げラッシュが続きますので見積りに関しましては、大工様・工務店様への早めの案内と、見積提出のタイミングに注意する必要があります。

② 住宅業界

住宅資材の高騰で建築費用が高み、住宅ローンが組めない、予算オーバーで新築持ち家をあきらめて、分譲・中古住宅へ需要が移行すると思われます。それと春の国会で空き家住宅の優遇税制撤廃の動きが有り、優遇措置撤廃となれば、なお一層中古住宅が活性化してくると思います。2025年4月以降に建築する住宅建築物の省エネ基準(断熱等級4かつ一次消費エネルギー等級4)が義務化となり、同じく4号特例の縮小が決まっていますので、今後温熱計算や消費エネルギー計算、構造計算(条件有)が必要になりますから、内製化又は外部委託の検討やお施主様との打ち合わせにおいて対応が必要になってくると思います。

■上記の状況を踏まえ今年の住宅・木材業界は住宅資材の近年にない資材高騰で新築着工は激減が予想されます。一方リフォーム・中古住宅に関しては良い動きがみられ、今後不動産業者との連携を踏まえ、消費者への積極的な営業活動が必要かと思われます。弊社としては、補助金等の提案を含めた対応をさせて頂きたいと思っています。

■わたしたちの使命 (SDGs)

(茨城木材の社会的役割)



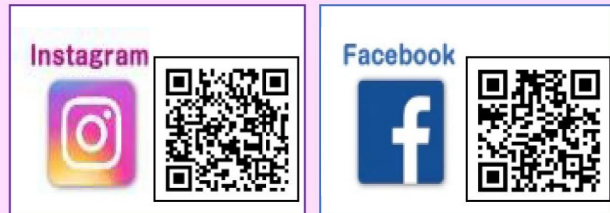
「消費と生産を結ぶ価値ある架け橋」となる
— 循環型地域環境の創造 —

1. 地域の人々により良い『住環境』を提供すること
2. 茨城県の森林環境を守ること



公式 SNS 始めました

最新の入荷情報などをいち早くお届け!



たくさんのフォローをお待ちしております!

ibamoku

対応準備はお済みですか?

「インボイス制度」と「電子帳簿保存法改正」

■各制度の概要

2023年10月～
義務化

「インボイス制度」とは

商品の売買等を行った際、売手には買手に求められた時、インボイス(適格請求書)の交付を義務付け、買手にはインボイスの保存を義務付ける制度です。

※インボイス…売手が買手に対して、**正確な適用税率や消費税額等を伝える請求書**のことです。

2024年1月～
義務化

「電子帳簿保存法改正」とは

DX(デジタルトランスフォーメーション)により業務のデジタル化が急速に進む昨今、テレワークやペーパーレスの推進、クラウドサービスの充実など、ビジネスの在り方は急速に変化しています。

こうした社会の変化の中で、**税務についてもデジタル化を推進すべく改正**されるのが、今回の電子帳簿保存法改正です。

各制度の詳細と準備事項は2面をご覧ください。

	R4年12月新設住宅着工				
	計	持家	貸家	給与住宅	分譲住宅
全国計	67,249	19,768	26,845	436	20,200
前期比	98.3%	87%	106.4%	85%	101.4%
茨城県	1,406	691	422	13	280
前期比	112.6%	92.1%	177.3%	162.5%	110.6%

県内市別の状況及びR3年度累計は弊社 Facebook をご覧ください。

[市日予定]

〈本社〉	〈つくば〉
2月14日(火) 記念市 記念式典 正午～	2月9日(木) 記念市 22日(水) 記念市